



インドに於ける輸出入事情 (チェンナイ地区)

NNR GLOBAL LOGISTICS INDIA PRIVATE LIMITED

2016年9月

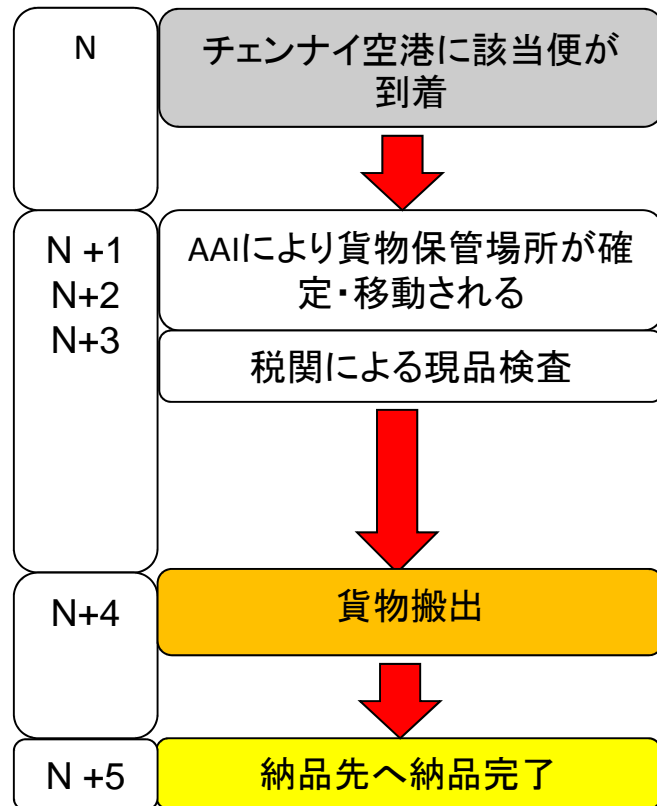
“Connecting
your dreams”



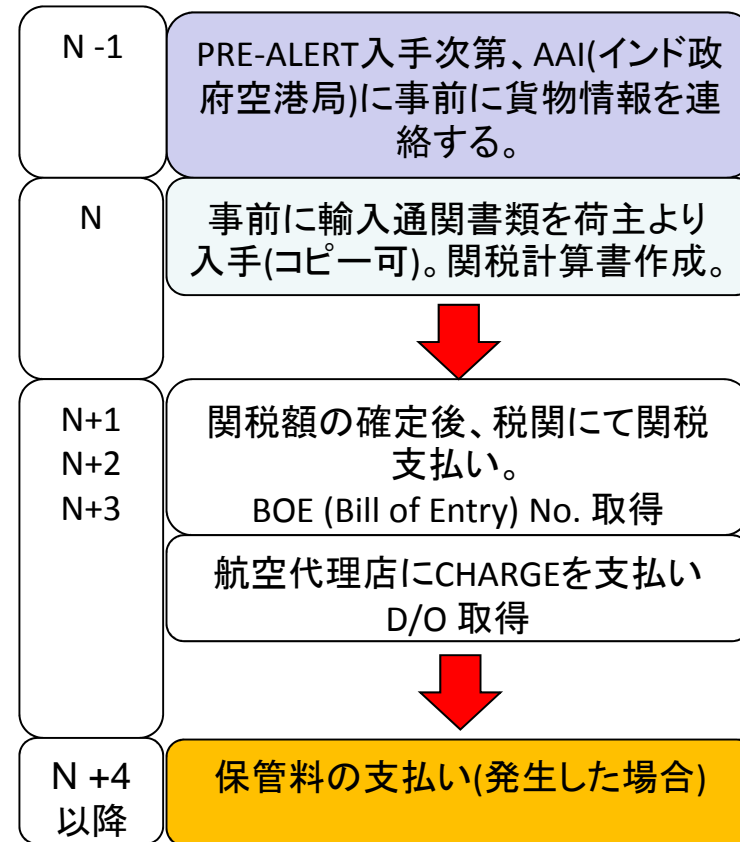
航空輸入の流れ (該当便到着をNとする)



貨物の流れ



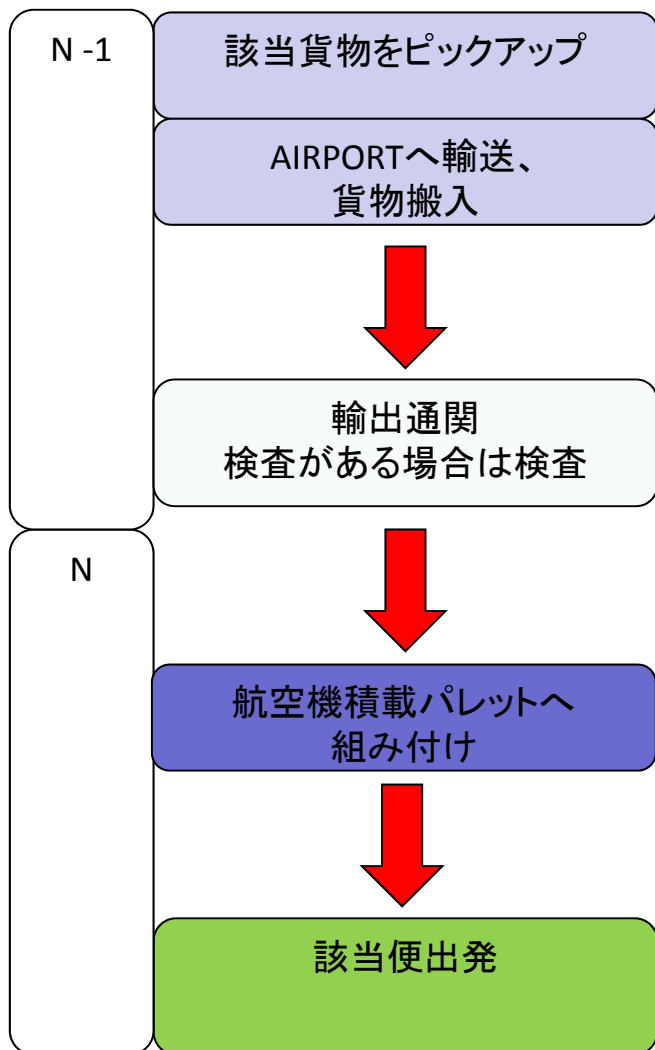
通関手配・搬出手配の流れ



◎注意点

日程については税関次第に拠るところがございますのであくまでも参考目安にてお願い致します。

航空輸出の流れ (該当便出発日をNとする)



チェンナイは夜間発の旅客便が多く、日中通関作業が終了し且つ搭載スペースが確保出来ていれば集荷当日夜の便に搭載も可能。但し、現状は下記が憂慮事項。

- 税関システム不具合
→システムアップグレード後、不具合により通関作業不可発生
- 貨物の空港搬入
→搬入待ちのトラックの列が1日続く
- 各団体(上屋・トラック会社・通関業者)のストライキ
→作業ストップ。翌日以降にも影響大

また、目的地まで経由便を利用する頻度が高い為、以下も考慮する必要がある。

- 経由地での乗継便
→東南アジア一円は常に搭載スペースの需要が供給を上回る状態、経由地での搭載便に変更(遅延)が多い。
- 貨物ダメージ
→経由地で次便への載せ代えが発生、人の手に触れる機会が増え、必然的にダメージ発生の確率が上がる。



上記を考慮した日程・梱包が重要

“Connecting
your dreams”

Nishitetsu
Group

まちに、夢を描こう。

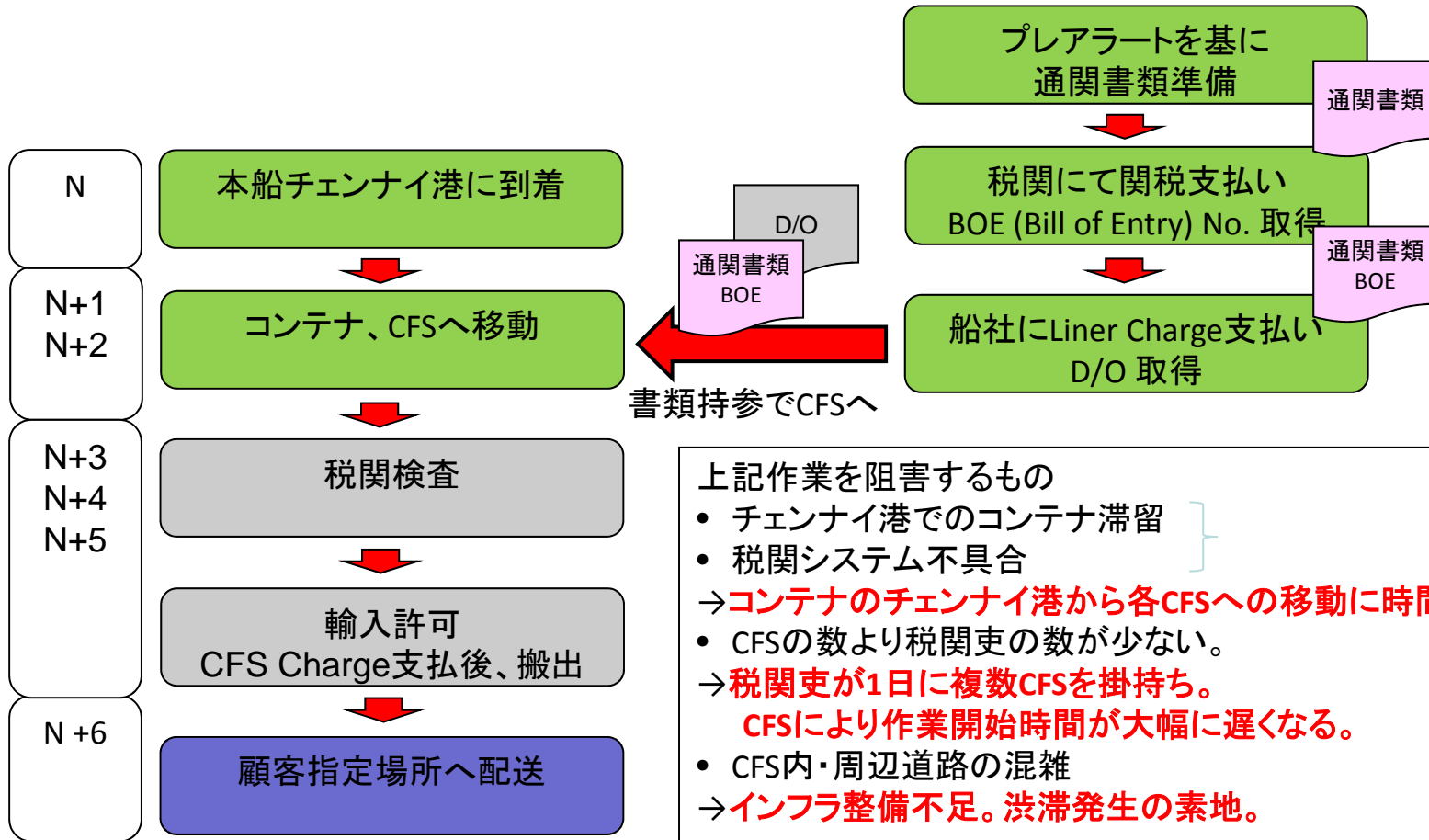
にしつ

海上輸入の流れ (本船到着をNとする/基本の流れ)



貨物の流れ

書類の流れ



上記作業を阻害するもの

- チェンナイ港でのコンテナ滞留
- 税関システム不具合

→ コンテナのチェンナイ港から各CFSへの移動に時間がかかる。

- CFSの数より税関吏の数が少ない。

→ 税関吏が1日に複数CFSを掛持ち。
CFSにより作業開始時間が大幅に遅くなる。

- CFS内・周辺道路の混雑

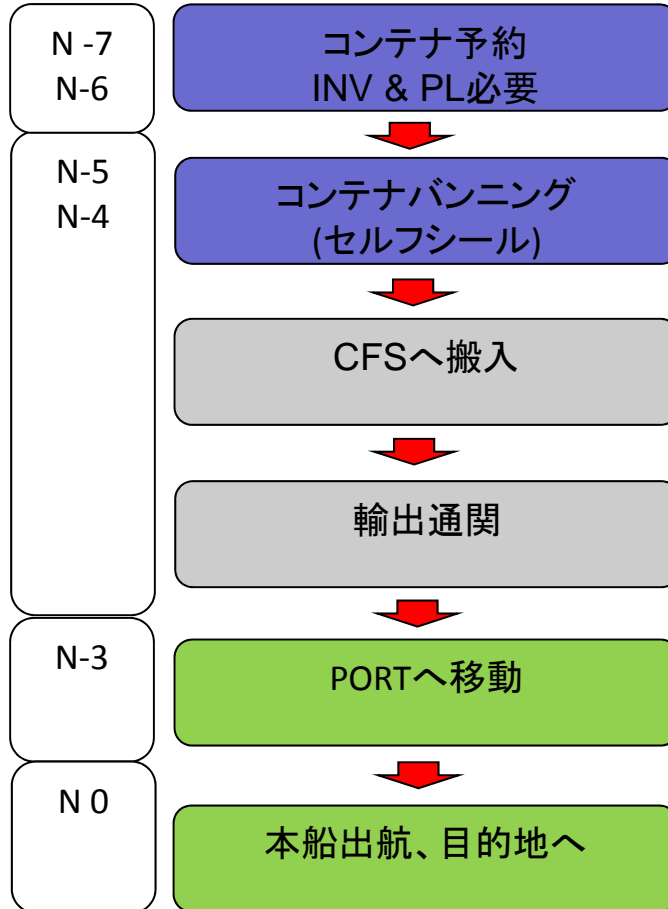
→ インフラ整備不足。渋滞発生 of 素地。

* 上記日程については税関に拠るところが大きなウェイトを占めるため参考目安として御考えください。

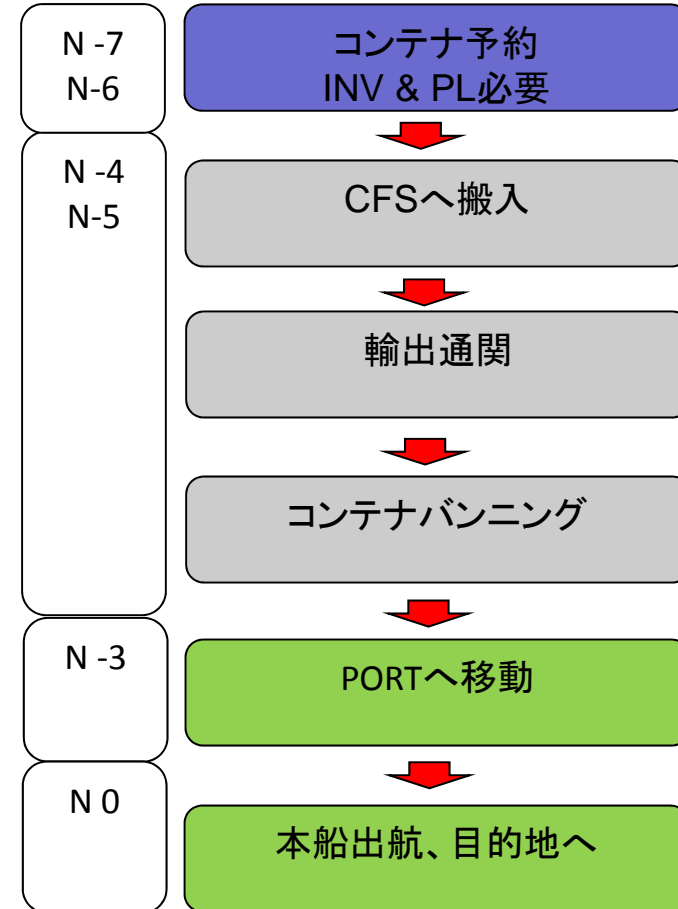
海上輸出の流れ (本船出港を0とする)



工場にてバンニングの場合



CFSにてバンニングの場合



ゲートオープンは本船出航3日前

フローだけではない直面する課題

- 税関システムの不具合
 - アップグレード実施後、システムストップが発生、輸出入通関作業の一切がストップ
- インフラ未整備
 - 空港・海上港でのスペース不足
 - 周辺道路未整備による配送遅延・貨物ダメージ
- プリンター等、故障時の対応不備
 - 申告書類のプリント不可による工事中断
- マンパワー不足
 - CFSの数に対して税関職員数が少なく、掛持ち対応
- 税関職員によるHS CODE解釈違い
 - 都度関税額が変動する事案が発生

円滑な通関作業が物流の鍵



当社は、お客様の国際物流全般にお役に立てるような、サービスの提供に努めております。

“Connecting
your dreams”



まちに、夢を描こう。
にしてつ